令和４年７月４日（月）朝礼
一羊館施設長　桑原英眞

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？　パート５、

６月末より再び新型コロナ感染症 COVID-19 が増加に転じてきたとのことです。そして新たな変異株も今度はB.A.5が増えつつあるようです。
一方で、長期戦になりそうなので政府も、インフルエンザに準じた対応でよいのではないかとの考え方に変わりつつあります。

私たちは今までの対応を続けることでよいでしょう。あまり神経質になりすぎず、かといって大事な予防のためのポイントは忘れない、ということに尽きます。ほどほどにウィズ・コロナ生活を楽しむ余裕を持ちましょう。

感染予防対策のその中心はマスク着用ですが、今年は例年よりも 22 日も早く梅雨が明けて異例続きです。
感染予防の基本は同じですが、これからは、マスク着用による**「熱中症リスク」**を考慮することこそ大事になってきました。

ウィズ・コロナ生活を楽しむ余裕を持つためには、下記にあるように改めて、私たちの理念および仕事をする上での基本姿勢である行動指針を振り返って、仕事の基本を見直しましょう。
老健施設の特色である、**多職種協働とは何か、感染予防のポイントとは何か**、見つめなおしましょう。

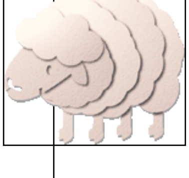
そのポイントは、言うまでもなく、**マスク着用・手指消毒・黙食・換気・3 密回避・スタンダードプリコーション等、**です。ポイントを守った上で、県外へも国外へも旅行に行ってもかまいません。ただ、久しぶりに会ったり、不特定多数に接触したりした場合は、5 日ルール／3 日ルールを適用することも考えましょう。そのためには遠慮はいりません、**ホウレンソウ（報告・連絡・相談）**を忘れないことです。

迅速な情報共有と多職種協働で、スタッフみんなで、一蓮托生のコロナ対策を乗り切りましょう。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針
私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。
私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の３立を目指します。
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの３原則：
①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
③正解は一つではないことを自覚して自制します。